

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番

2000.1.12. No.5072.

2000年を動労千葉躍進の年へ

《1・8 団結旗開き盛大に開催》



《修羅の年に向けて、トリーパー!!》

「2000年、総団結でガンバロー!!」

新たな闘いの砦を基盤に
二一世紀に断固として立ち向う

動労千葉団結旗開きが、二〇〇〇年一月八日、千葉県労働者福祉センターに組合員・家族・来賓・支援の方々、一八〇名の御参集の下、労働運動の新たな時代を切り拓く闘いに進撃していく決意を全体で確認した。旗開きは、塚副委員長長の司会で開会され、冒頭、年頭あいさつとして、中野委員長が登壇した。(要旨別掲)
続いて、来賓あいさつでは、第一部、第二部を通じて、三里



塚反対同盟・北原事務局長、動労千葉弁護団・葉山代表、福祉団体、議員、各政党、支援労組をはじめ、OB、家族会などから御挨拶をいただいた。
各支部代表のあいさつでは、つぎつぎと年頭の決意が表明され、中野委員長、佐藤家族会会長による鏡開き後、全員が親睦を深め、意気軒高と新たな闘いへ進む意思が統一された。
二〇〇〇年を労働運動の大躍進の年へ！進撃しよう！

《中野委員長年頭あいさつ》

二〇〇〇年はどういう年になるのか？二〇世紀をしめくくって二一世紀に向かって労働運動を逞しく前進させる年としなければならぬ。

二〇世紀とは、一言でいうと戦争と革命の時代だった。一九九九年の一年間に起こったことが二〇〇〇年にも発生する。象徴的には、ガイドライン関連法の成立は戦争が身近な問題になったということであり、憲法に則った戦争をしない国から戦争をできる国へと転換したということだ。

さらに労働者が大幅に大量に首を切られた年であったということだ。リストラの中で、戦争のできる国家へと着々と攻撃が進むだろう。

結成二〇周年を通して、労組の骨格を折られかねない年に、着々とわれわれは運動を進めてきた。JR体制の矛盾は、日本の鉄道の技術水準の低下といふところまで行きついた。われわれが十年訴え続けてきた運動が大きく前進しなければならぬ。

労働運動をめぐる構図はけっして明るくないが、ガイドラインに反対する五万人集会の成功、一〇〇万人署名の推進、一一・七集会に代表される、闘う労働組合の全国ネットワークの前進と、今後は政府・権力にからめとられるのか、闘う労組へと結集していくのかという分水嶺が進むだろう。

二〇〇〇年は、普天間基地移転、サミットをめぐる沖縄の



労働者の闘いが火を噴く。三里塚での成田暫定滑走路攻撃、国鉄闘争から魂を奪っていく攻撃が襲いかかってくるだろう。
二〇〇〇年の一年間、何よりも国鉄闘争の勝利を目指して奮闘していく。まずは労働委員会命令を司法機関がひっくりかえしたことに對する、ILOの中間報告をテコにして、反転攻勢をかけなければならない。
機労結成当時から伝統としてある、鉄路の安全を守る反合・運転保安闘争を強化し、安全の危機の進行を打開する伝統ある闘いを展開したい。
そしてこの一年間を組織強化・拡大の一年にしよう。JR総連のくさびから若い仲間を解放して、組織的大躍進の礎を築きたい。
新たな闘いの砦をもとに、動労千葉は二一世紀に断固として立ち向かっていきたい。